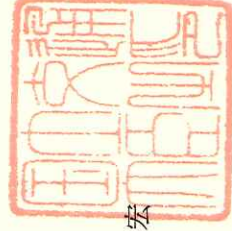


不

認定書

国住指第 3661 号
平成 27 年 1 月 29 日

ウェアーハウザー・ジャパン株式会社
代表取締役社長 岩淵 浩俊 様



国土交通大臣 太田 昭宏

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項 (同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。) の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号 (床：各 1 時間) の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP060FL-0119-1
2. 認定をした構造方法等の名称
強化せつこうボード重張・木質系ボード上張/強化せつこうボード重下張
/木造床
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
強化せっこうボード重張・木質系ボード上張／強化せっこうボード重下張／木造床

2. 仕様の寸法：
仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項目	仕様
支持部材間隔	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
床厚	372mm以上
天井裏空間高さ	279mm以上
床根太間隔	500mm以下

3. 仕様の主構成材料：
仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様
床根太 (荷重支持部材)	材料：木質複合軸材料(国土交通大臣認定指定建築材料：MWCM-0005、TJI) 構成：①及び② ①フランジ 材料：構造用単板積層材 寸法(B×H)：53(±1.0)×35(±1.5)mm以上 密度：0.5(-0.05)g/cm ³ 以上 ②ウエブ 材料：構造用パネル 厚さ：9.5(±1.0)mm以上 密度：0.6(-0.06)g/cm ³ 以上 断面寸法(B×H)：53(±1.0)×241(±2.0)mm以上
床下地材 (木質系ボード)	材料：①、②又は③ ①構造用合板(日本農林規格に適合するもの) ②構造用パネル(日本農林規格に適合するもの) ③パーテイクルボード(JIS A 5908) 厚さ：12mm以上 密度：0.5(-0.05)g/cm ³ 以上
天井被覆材 (下張)	材料：強化せっこうボード(JIS A 6901)かつ(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8615) 厚さ：21(-0.5)mm以上 密度：0.75(-0.02)g/cm ³ 以上 端部形状：ベベル、スクエア又はテーパ-
天井被覆材 (上張)	材料：強化せっこうボード(JIS A 6901)かつ(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8615) 種類：GB-F(N) 厚さ：15(-0.5)mm以上 密度：0.75(-0.02)g/cm ³ 以上 端部形状：ベベル、スクエア又はテーパ-
床上被覆材 (下張、上張)	材料：強化せっこうボード(JIS A 6901)かつ(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8615) 厚さ：21(-0.5)mm以上重張 密度：0.75(-0.02)g/cm ³ 以上 端部形状：ベベル、スクエア又はテーパ-

つづく

つづき

野縁	<p>材料：①～⑤の—</p> <p>①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材</p> <p>②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材又は集成材</p> <p>③日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材</p> <p>④日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材</p> <p>⑤平成12年建設省告示第1452号の第六に規定する無等級材又は第七に規定する木材</p> <p>断面寸法：38×45mm以上</p> <p>密度：0.32(−0.032)g/cm³以上</p> <p>取付間隔：333mm以下</p>
野縁受け	<p>仕様：(1)又は(2)</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <p>材料：①～⑤の—</p> <p>①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材</p> <p>②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材又は集成材</p> <p>③日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材</p> <p>④日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材</p> <p>⑤平成12年建設省告示第1452号の第六に規定する無等級材又は第七に規定する木材</p> <p>断面寸法：38×45mm以上</p> <p>取付間隔：1000mm以下</p>

4. 仕様の副構成材料：
仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項目	仕様
ウェブスチフナ材	<p>仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材料：①、②又は③ ①構造用合板(日本農林規格に適合するもの) ②構造用パネル(日本農林規格に適合するもの) ③パーテイクルボード(JIS A 5908) 厚さ：9mm以上 密度：0.5(-0.05)g/cm³以上</p>
合板受材	<p>仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材料：①～⑤のー ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材 ②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材又は集成材 ③日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材 ④日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材 ⑤平成12年建設省告示第1452号の第六に規定する無等級材又は第七に規定する木材 断面寸法：38×45mm以上 取付間隔：1000mm以下</p>
吊木	<p>仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材料：①～⑤のー ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材 ②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材又は集成材 ③日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材 ④日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材 ⑤平成12年建設省告示第1452号の第六に規定する無等級材又は第七に規定する木材 断面寸法：38×45mm以上 取付間隔：1000mm以下</p>
留付材	<p>床下地材固定用 材料：①又は② ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N50以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 留付間隔：150mm以下</p>

つづく

つづき

留付材

天井被覆材(下張)固定用

材料：①又は②

①木ねじ

②タッピンねじ

寸法：呼び径φ3.8×長さ38mm以上

材質：1)又は2)

1)鋼製

2)ステンレス鋼製

留付間隔：300mm以下

天井被覆材(上張)固定用

材料：①又は②

①木ねじ

②タッピンねじ

寸法：呼び径φ3.8×長さ57mm以上

材質：1)又は2)

1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2)

2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)

留付間隔：周辺部150mm以下、中間部200mm以下

床上被覆材(下張)固定用

材料：①～④の一

①せっこうボード用くぎ(JIS A 5508)

寸法：GN40以上

②シーリングボード用くぎ(JIS A 5508)

寸法：SN45以上

③木ねじ

④タッピンねじ

③及び④の寸法：呼び径φ3.8×長さ38mm以上

③及び④の材質：1)又は2)

1)鋼製

2)ステンレス鋼製

留付間隔：300mm以下

床上被覆材(上張)固定用

材料：①～④の一

①せっこうボード用くぎ(JIS A 5508)

寸法：GN40以上

②シーリングボード用くぎ(JIS A 5508)

寸法：SN45以上

③木ねじ

④タッピンねじ

③及び④の寸法：呼び径φ3.8×長さ38mm以上

③及び④の材質：1)又は2)

1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2)

2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315)

留付間隔：300mm以下

つづく

つつき

留付材	<p>野縁固定用 材料：①又は② ①木ねじ ②タッピンねじ 寸法：呼び径φ3.8×長さ57mm以上 材質：1)又は2) 1)鋼製 2)ステンレス鋼製 留付本数：1本以上/1箇所(床根太又は野縁受けとの接合部) 野縁受け固定用(野縁受けを用いる場合) 材料：①、②又は③ ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N65以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN65以上 ③木ねじ 寸法：呼び径φ3.8×長さ57mm以上 材質：1)又は2) 1)鋼製 2)ステンレス鋼製 留付本数：2本以上/1箇所(床根太又は吊木との接合部) 吊木固定用(吊木を用いる場合) 材料：①～④の一 ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N65以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN65以上 ③木ねじ ④タッピンねじ ③及び④の寸法：呼び径φ3.8×長さ57mm以上 ③及び④の材質：1)又は2) 1)鋼製 2)ステンレス鋼製 留付本数：2本以上(床根太との接合部)</p>
目地処理材	<p>天井被覆材(上張)用 材料：①及び②の併用 ①パテ材 材質：1)又は2) 1)せつこう系 2)炭酸カルシウム系 使用量：100g/m以上 ②ガラス繊維テープ 厚さ：0.2mm以上 幅：50mm以上</p>

5. 仕様の構造説明図：
仕様の構造説明図を図1～図4に示す。

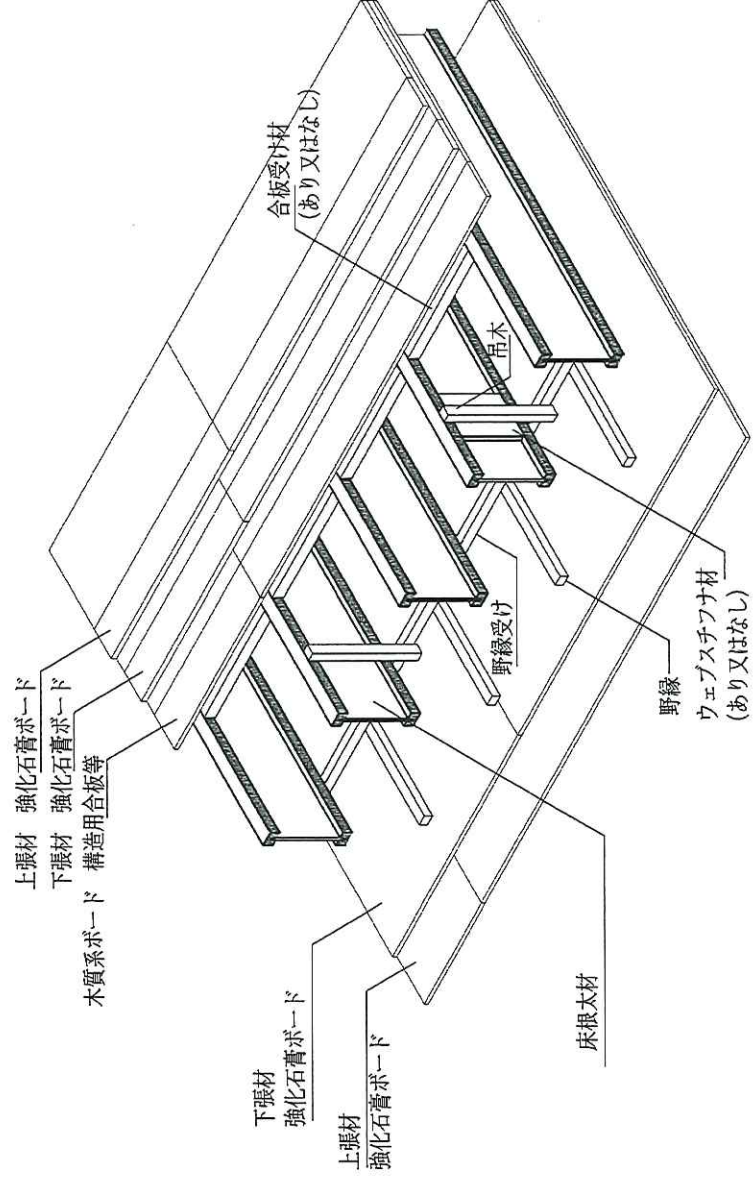
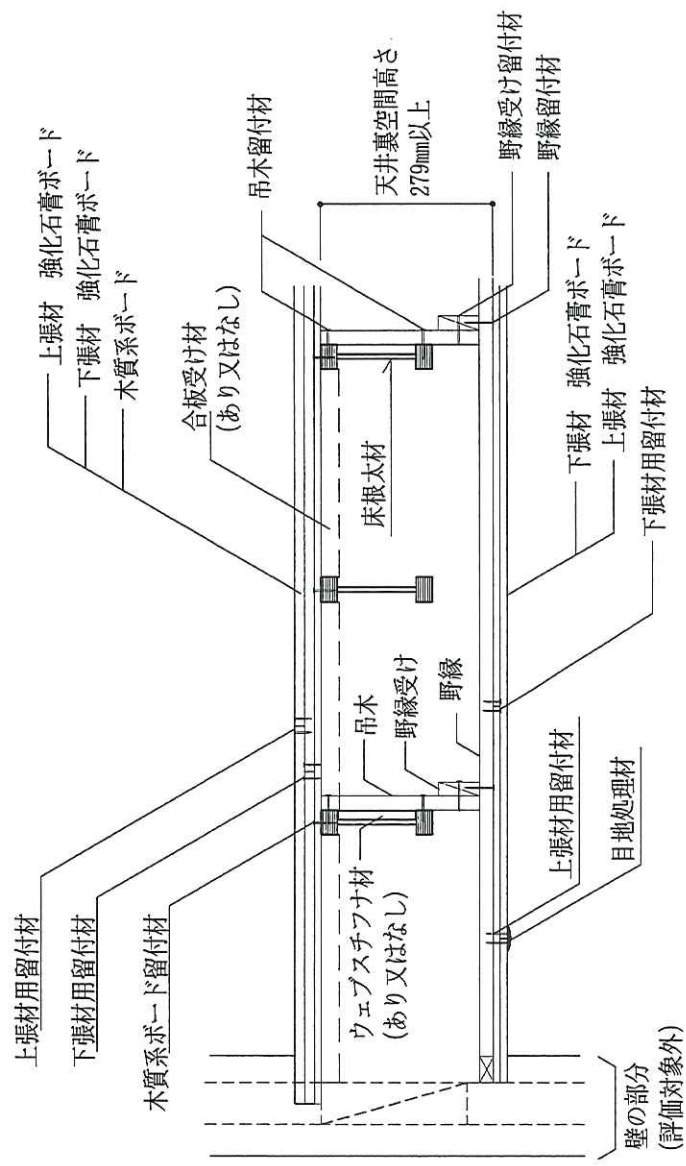
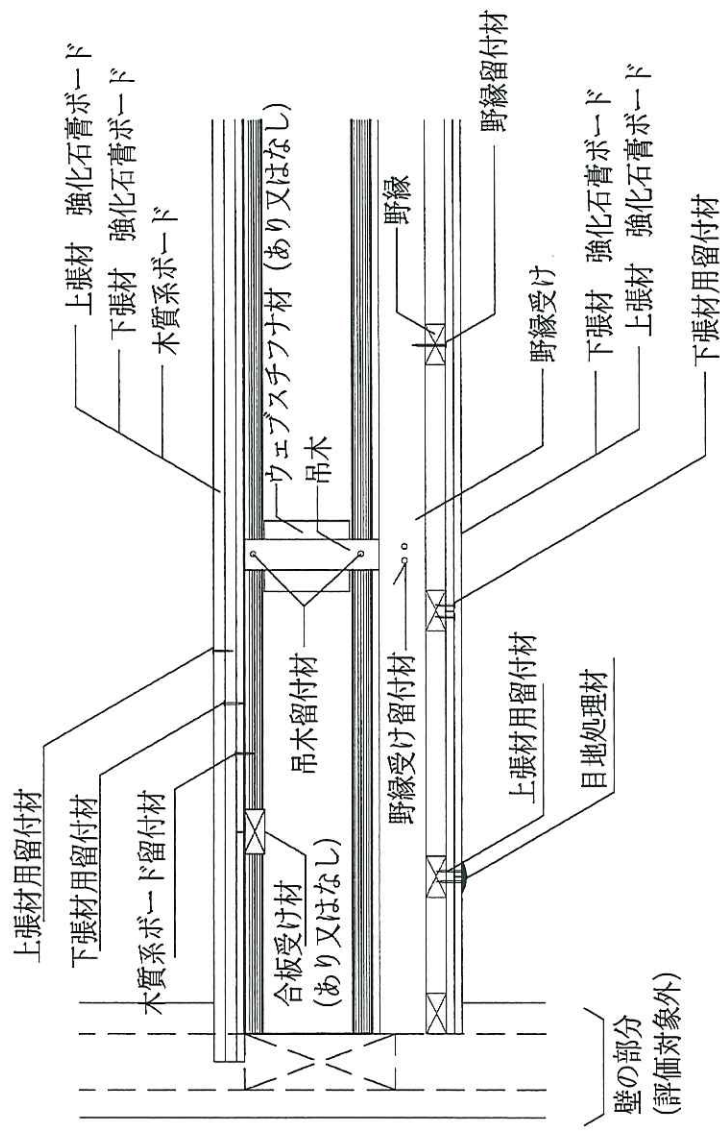


図1 構造説明図

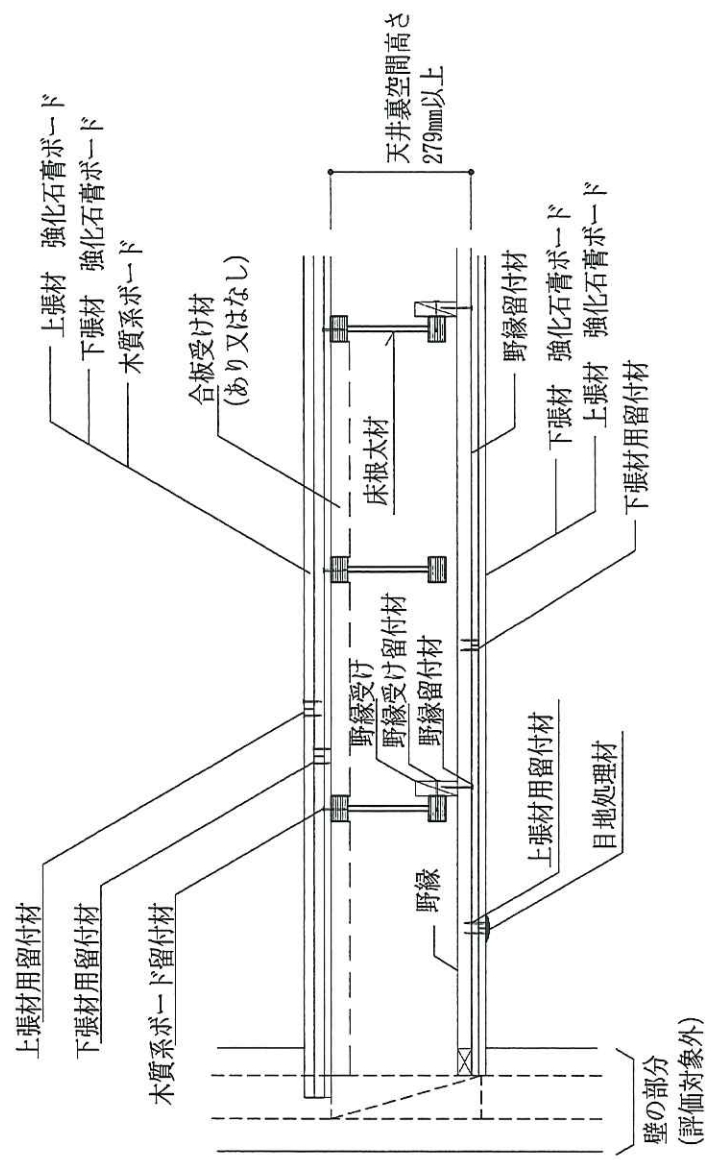


床根太直行方向

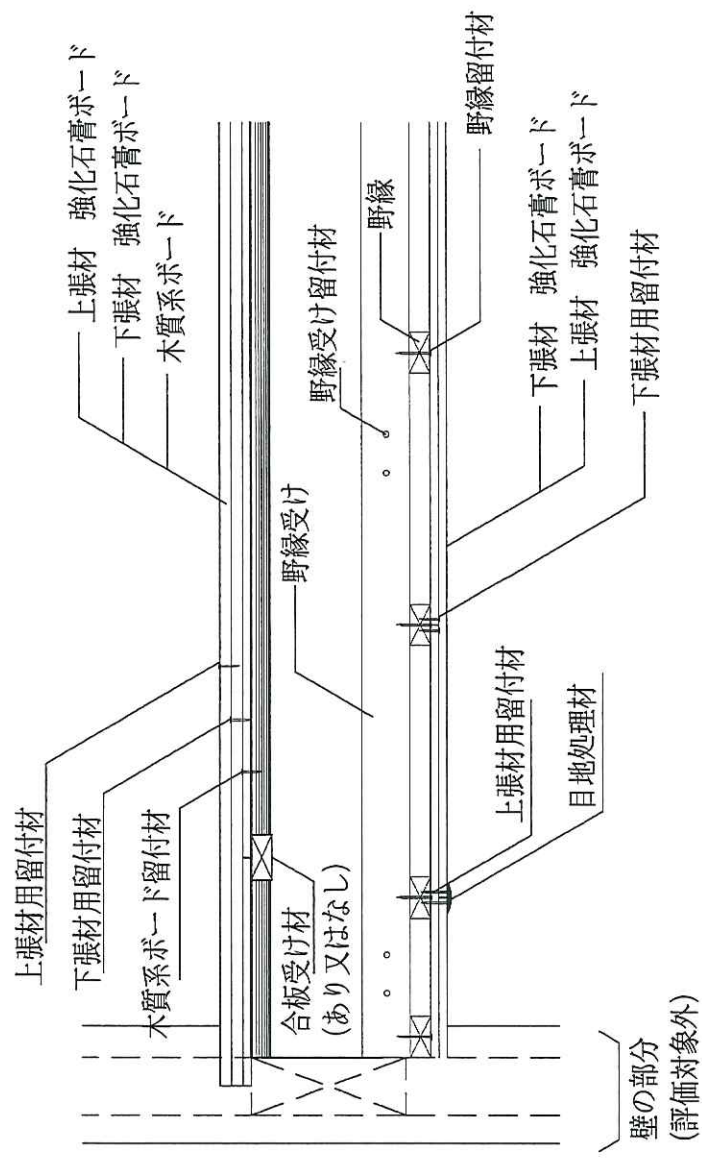


断面図(野縁受けあり、吊木あり)

図2 構造説明図



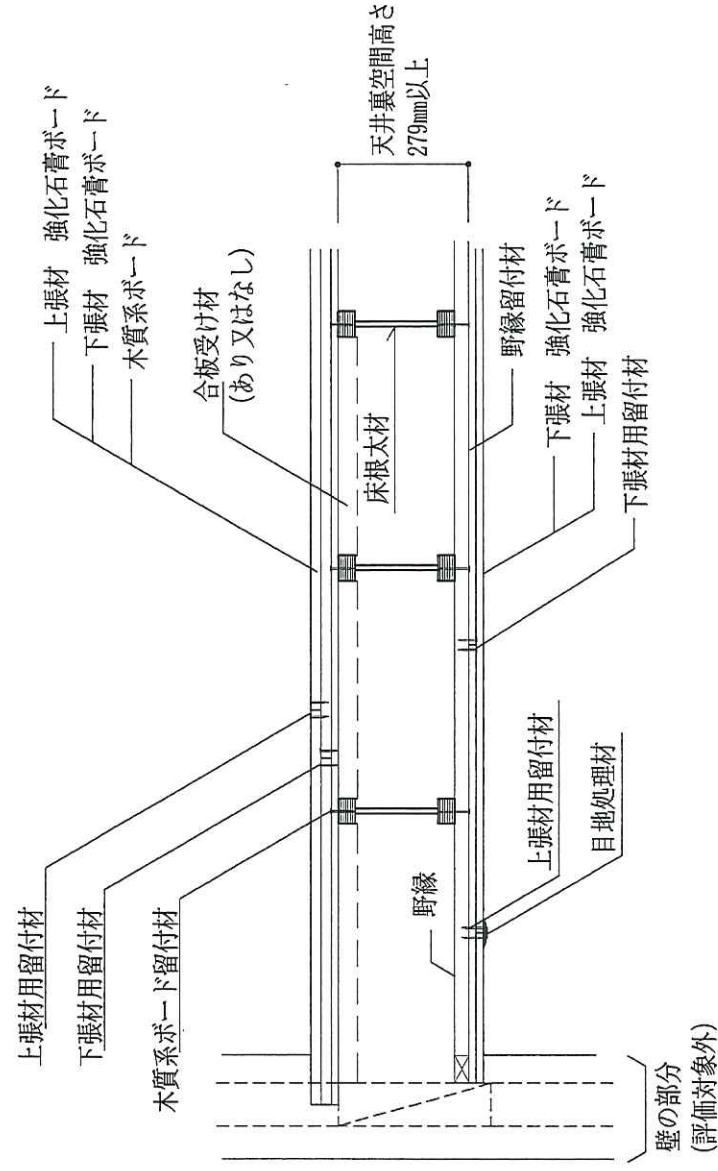
床根太直行方向



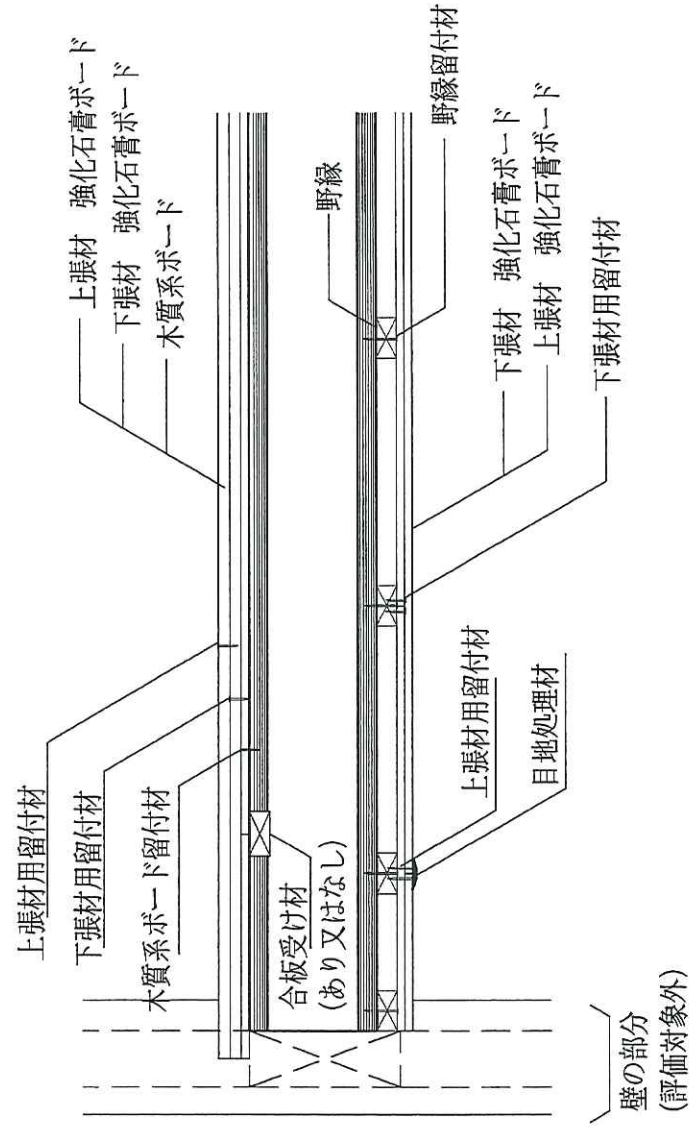
床根太方向

断面図(野縁受けあり、吊木なし)

図3 構造説明図



床根太直行方向



床根太方向

断面図(野縁受けなし、吊木なし)

図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

(1) 木製下地材の組み立て

- ① 根太を指定の間隔で受け材に取り付ける。
 - ② 吊木を1,000mm以下の間隔で根太に留付材で取り付ける。留付材は2箇所以上留め付ける。
 - ③ 野縁受けを吊木に留付材で取り付ける。留付材は2箇所以上留め付ける。
吊木を省略する場合は、野縁受けを床根太フランジに留付材で留め付ける。
 - ④ 野縁を野縁受けに留付材で留め付ける。
吊木、野縁受けを省略する場合は、野縁を床根太フランジに留付材で留め付ける。
- ### (2) 床下地材の取り付け
- 木質系ボードを根太に留付材で留め付ける。留付材は150mm以下の間隔とする。
- ### (3) 床上被覆材の取り付け
- 床上被覆材を重張りする。留付材は300mm以下の間隔とする。
- ### (4) 天井被覆材の取り付け
- 天井被覆材を重張りする。
- ① 下張は野縁に留付材で留め付ける。留付材は300mm以下の間隔とする。
 - ② 上張は野縁に留付材で留め付ける。留付材は周辺部150mm以下、中間部200mm以下の間隔とする。

【留意事項】

本性能評価は、床1時間耐火性能を対象としたものであり、はりは評価対象外である。